



**地域などの
環境美化活動に
参加しよう**

美しい河川を守る

5月27日に、勝山北部中学校が「北中まちづくりプロジェクト」の一環として九頭竜川流域の河川清掃を行い、生徒、保護者、教職員の合計215人で約440kgのごみを回収しました。

タイヤや金属板などの大物もあり、生徒たちは力を合わせてごみの除去に取り組んでいました。除去活動が続けていてもなかなか減らないごみに対して、更なる啓発が必要です。また、昭和52年から続く浄土寺川清掃活動に対して、勝山中部中学校が5月30日に国から河川功労者表彰を受けるなど、学校の取り組みが高く評価されています。



6月は「環境月間」

みんなで守ろう！勝山の自然

～小さなことからコツコツと～

勝山市は、自然あふれる美しいまちです。ここでは、日本ジオパークや白山ユネスコエコパークとしても評価されているこの自然をつないでいくために、身近にできることを紹介します。

**生ごみを減らそう
～二酸化炭素の排出
削減にも努めよう～**

**なぜ生ごみの
減量化をするの？**

家庭から出る燃やせるごみの約半分が生ごみで、そのうち4分の1が食べ残しなど、本来食べられるのに捨ててしまっている「食品ロス」です。生ごみの水分を焼却時に蒸発させるためには、より多くの燃料が必要になり、それだけ二酸化炭素が増加します。また、ごみの処理や運搬により多くの費用がかかります。ごみに関する費用は税金でまかなわれており、間接的に市民の皆さんの負担が増えていくことになります。将来の私たちが暮らしやすいするために、身近なところからできることがあります。

**生ごみの水切り
もうあとひと搾り**

生ごみの約8割を占める水分を減らすことで、ごみの重量を減らすことになり悪臭対策にもなります。三角コーナーや排水口にたまった生ごみは水切りして、

ごみ袋に入れる前には、最後にもうひと絞りしてみてください。また、野菜くずやお茶がらは新聞の上に置いて乾燥させたりすることも有効です。



あとひと搾りを

また、市では「生ごみ処理機」や「生ごみ処理堆肥化容器（コンポスト）」購入に対し、補助金を交付しています。



コンポスト

食品ロスをなくそう

県では、家庭や外食時においしく食べきり、食べ残しの減量化を進める「おいしいふくい食べきり運動」に取り組んでいます。食品ロスを減らしてごみの減量化に努めましょう。食品ロス減量のポイント

- ・買い物前には冷蔵庫の中を確認

地域で取り組む環境美化

6月5日の環境の日に合わせ、同3日には各地区で環境美化活動が行われました。早朝から参加者は草刈りやごみ拾いなどに従事し、汗を流していました。



元禄線での草刈り

**美しい自然を
維持するために**

今回紹介した活動のほかに、各小中学校では地域の河川清掃や環境活動に広く取り組んでいます。

これまで環境に関する考え方には様々なものが登場し、政策などに取り入れられています。しかし、それでも外来種や環境汚染などはなくならず、取り組むべきことはたくさんあります。

まずは自身の周りをみて、身近でできることから取り組んでみましょう。



クリーンアップ九頭竜川2018を開催

と き▶ 8月26日(日) 午前7時～ 集 合▶ 弁天グラウンド

4月開催予定で荒天のため中止となった九頭竜川の清掃活動「クリーンアップ九頭竜川2018」を、日を改めて開催します。

外来種駆除活動も予定していますので、みなさまの積極的なご参加をお願いします。

準備物▶ごみ拾いができる服装、手袋(軍手など)、タオル、飲み物、有れば火ばさみ など

主 催▶クリーンアップ九頭竜川勝山地域連絡協議会
関市民・環境課 (市役所1階)
☎ 88・8104

**リサイクル
できないものは？**

次のものは再生できないため、燃やせるごみへ出してください。



リサイクルできないもの

「雑がみ」の出し方は？

「雑がみ」だけを束ねて、丈夫なひもでしばります。細かいものはばらばらにならないよう紙袋に入れてください。紙袋はビニールコーティングされていないもので、手提げひもが紙製でないものはひもを取り外してください。



関市民・環境課 (市役所1階)
☎ 88・8104

「雑がみ」ってなに？

「雑がみ」は分別すれば資源としてリサイクルされる紙資源です。分別して毎月の資源ごみの日に出してください。



雑がみ